

白樂天

シテ 廣田 幸稔 ツレ 廣田 明幸

苔衣 着たる

巖は さもなくて
衣着ぬ

山の帯を
するかな



面 / 金剛家蔵 石王尉

白雲 以 腰
圍 山
青苔 如 衣
負 巖 骨

狂言 薩摩守
茂山 千之丞

2022年10月2日(日) 13:30始曲(開場12:30)
第33回 廣田鑑賞会能

料金 / [一般] 8,000円(正面・脇正席) 5,000円(中正席) [会員] 7,500円 [学生] 2,500円

◆ 主催 / 廣田鑑賞会 ◆ 指導 / 宗家 金剛永謹 ◆ 後援 / 金剛会・京都新聞



会場 / 金剛能楽堂
TEL.075-441-7222
京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町5901

第三十三回廣田鑑賞会能

二〇二三年十月二日(日) 午後一時半始曲

ご挨拶

狂言「薩摩守(さつまのかみ)」

諸国就行の僧が天王寺参詣のために摂津国神崎あたりまでやって来た。実はこの僧、世情に疎く、茶屋の飲食に代金があることすら知らなかった。茶屋の亭主は無一文の僧に同情し、この先の神崎川にいる洒落好きの船頭に、代金を支払わずにすむ一案を教える。まずは「平家の公達」といい、「その心は」と渡し守に問われたら、「薩摩守〇〇」と応えよ。ところが僧は、肝心なところで大事なひとことを忘れてしまう

能「白楽天(はくらくてん)」

唐の詩人・白楽天は日本の知力を調べよという勅命を受けて海を渡り、筑紫国松浦潟までやって来る。小舟をすすめると、沖合で釣り糸をたれる漁翁の舟に出会う。漁翁は白楽天の名前と、日本に来た目的を言い当てたうえ、浦の情景を詠んだ白楽天の漢詩をすぐさま和歌に置き換えてみせ、白楽天を驚かせる。漁翁は、日本では蛙や鶯まで歌を詠むのだと言いやがて住吉明神としての正体を現して舞う。すると伊勢や石清水、鴨や春日など日本中の神々も現れて神風を起し、白楽天の乗った船をもと来た唐土へと吹き戻したのだった。

廣田鑑賞会 廣田幸稔

◆ 番組

◎午後一時半始曲

― 休憩 ― 二十分

能
白楽天
廣田明幸
廣田幸稔

豊嶋幸洋
金剛永謙
豊嶋晃嗣

◎午後四時頃終了予定
都合により内容を一部変更する場合がございます。

前シテ / 漁翁
後シテ / 住吉明神
シテツレ / 漁夫
ワキ / 白楽天
ワキツレ / 従者
アイ / 末社の神

当日配布冊子 解説

京都芸術大学舞台芸術研究センター 特別教授

相山女学院大学教授

元甲南大学教授

天野 文雄
飯塚 恵理人
西條 隆雄
水谷 弓

廣田幸稔 (ひろた ゆきとし)

金剛流シテテ

先代および当代宗家・金剛永謙と父陸一に師事

重要無形文化財保持 能楽協会理事 京都能楽会理事

金剛会理事 京都市芸術新人賞

文化庁芸術祭新人賞 京都府文化賞功労賞

廣田明幸 (ひろた はるゆき)

2008年生

祖父は廣田幸稔

※当日解説付番組あります。

第34回 廣田鑑賞会能 2023年(日程未定)(日)午後一時半始曲(予定) 能「求塚」

狂言

FAXにても、ご予約を承ります。廣田鑑賞会 075-781-1885までご送信ください。切符は当日受付にて、お引渡しとなります。

《第33回廣田鑑賞会能 申し込み》

※会場では手指消毒・検温・マスクの着用をお願いいたします。
※コロナウィルス感染予防のため、会場での茶菓のご用意はございません。

■お名前

■お電話・FAX

■ご住所

- 一般券 (8,000円/正面・脇正面席) 枚
 一般券 (5,000円/中正面席) 枚
 学生券 (2,500円/学生席) 枚

※ 内にチェックして下さい

チケット取扱所

●金剛能楽堂 075-441-7222 ●京都新聞文化センター
●KENSYOインターネットチケットサービス <http://www.nohkyogen.jp/>(PC) <http://nohkyogen.jp/mobile>(携帯)
●セクターエイティエイト 06-6353-8988 ●廣田鑑賞会